

令和6年8月2日

鉄道局都市鉄道政策課

三大都市圏の平均混雑率が増加

～都市鉄道の混雑率調査結果を公表（令和5年度実績）～

令和5年度の三大都市圏における平均混雑率^注は、東京圏：136%、大阪圏：115%、名古屋圏：123%となり、東京圏は13ポイント、大阪圏は6ポイント、名古屋圏は5ポイントの増加となりました。

本調査は、通勤通学時間帯における鉄道の混雑状況を把握するため、毎年度実施しているものです。

【三大都市圏主要区間の平均混雑率（令和5年度実績）】 ※カッコ内は昨年度調査の混雑率

東京圏	大阪圏	名古屋圏
136% (123%)	115% (109%)	123% (118%)

（注）混雑率：最混雑時間帯1時間の平均（主に令和5年10月～11月の1日又は複数日の乗車人員データを基に計算したもの）

〈添付資料〉

- ・資料1：三大都市圏の主要区間の平均混雑率の推移（2023）
- ・資料2：三大都市圏の主要区間の混雑率（2023）
- ・資料3：都市部の路線における最混雑区間の混雑率（2023）

なお、主な鉄道事業者の混雑状況等については、各鉄道事業者のウェブサイトにおいて紹介しております。

連絡先：鉄道局都市鉄道政策課 鈴木、尾崎
代表：03-5253-8111（内線：40454）
直通：03-5253-8535